

各 位

会 社 名 株式会社モバイルファクトリー
 代表者名 代表取締役 宮 寫 裕二
 (コード: 3912 東証第一部)
 問合せ先 執行役員計数管理部長 谷本 洋
 (TEL. 03-3447-1181)

業績予想数値と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 1 月 20 日付「平成 28 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました、平成 29 年 12 月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、本日開催の取締役会におきまして、平成 29 年 5 月 26 日付「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」において公表しました、平成 29 年 12 月期の期末配当予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異について

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,486	百万円 761	百万円 747	百万円 516	円 銭 54.70
実 績 値 (B)	2,437	736	722	511	54.18
増減額 (B - A)	▲48	▲25	▲25	▲4	—
増減率 (%)	▲1.9	▲3.3	▲3.4	▲0.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	2,072	611	611	411	43.64

1. 当社は、平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株、平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っており、1 株当たり当期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結業績予想数値と実績値との差異の理由

平成 29 年 12 月期の通期連結業績は、位置情報連動型ゲームにおきまして「ステーションメモリーズ！」の iOS 及び Android 版が好調に推移したこと等により、売上高及び各利益項目は前期実績を上回りました。

一方で、当期にリリースしたタイトルの実績推移が見込みを下回ったこと、及び新作の開発中止に伴う費用計上等の影響により、売上高及び各利益項目は前回発表予想を下回る結果となりました。

平成 29 年 12 月期の業績の詳細につきましては、本日公表しております「平成 29 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2. 平成29年12月期 期末配当予想の修正について

(1) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (平成29年5月26日発表)	—	16円50銭	16円50銭
今 回 修 正 予 想	—	17円00銭	17円00銭
当 期 実 績	0円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	0円00銭	13円50銭	13円50銭

1. 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため平成28年12月期の年間配当金は、当該株式分割の影響を考慮しない場合、1株当たり27円となります。

(2) 期末配当予想の修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、持続的な成長に必要な経営体質の強化及び設備投資等を行うことも経営上重要と捉えております。そのため、持続的な成長のための内部留保と株主に対する利益還元をバランスよく実施していくことを基本方針としております。

配当額につきましては、業績及び財政状態等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的な配当を実施するために、連結配当性向30%を目標としております。

当期の期末配当予想につきましては、平成29年12月期通期連結業績の実績を踏まえ、1株につき17円に修正いたします。なお、期末配当金につきましては、平成30年3月27日開催予定の第17期定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

また、平成30年12月期以降の株主還元方針の詳細につきましては、本日公表しております「株主還元方針の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上